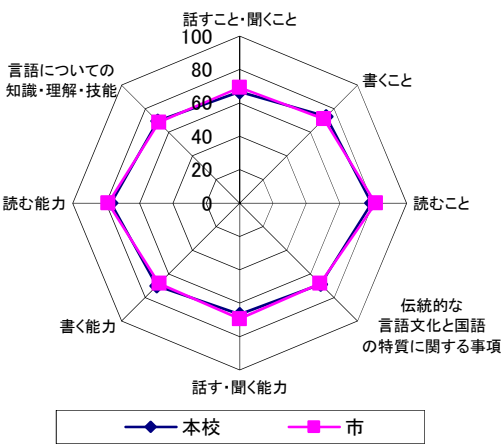


宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	66.7	69.3	73.4
	書くこと	73.2	71.3	74.6
	読むこと	79.0	81.5	81.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.8	68.1	71.6
観点別	話す・聞く能力	66.7	69.3	73.4
	書く能力	70.0	68.1	71.7
	読む能力	77.1	78.8	79.0
	言語についての知識・理解・技能	69.4	68.4	72.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

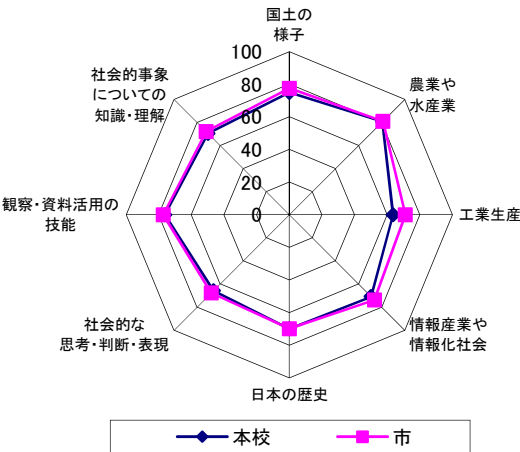
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「話し手の意図を考えながら、話合いの内容をまとめる」問題の正答率は、市の平均より2.0ポイント高い。 ●「話し方の工夫を考えながら、話合いの内容を聞く」問題の正答率は、市の平均より9.1ポイント低い。	・大切なことを聞き逃さないように、話を聞きながらメモを取る力を育てていく。 ・国語だけでなく、学級活動や道徳の時間での話合いを大切にし、話題の流れを意識できるような声掛けを行う。
書くこと	○「国語辞典の資料を使って、意見文に書く内容を理解する」問題の正答率は、市の平均より、3.9ポイント高い。 ○「2段落構成で文章を書く」問題の正答率は、市の平均より9.8ポイント高い。 ●「指定された長さで文章を書く」問題の正答率は、市の平均より4.7ポイント低い。	・文字数を指定し、文章から読み取ったことや自分の考えを書く活動を設ける。 ・これまで通り、自分の考えを文章に表すような活動を意識的に取り入れる。
読むこと	○「場面の描写を読み取る」問題の正答率は、市の平均より5.9ポイント高い。 ●「物語の登場人物の心情を読み取る」問題の正答率は、市の平均より9.8ポイント低い。 ●「説明文の文章の内容を的確に読み取る」問題の正答率は、市の平均より11.8ポイント低い。	・図書室の利用時間を増やし、物語文への関心を高める。 ・語彙が増えたり、心情を表す表現を学んだりできる宿題を出し、人物の内面に迫れるようにする。 ・説明文を読む家庭学習を出したり、朝の学習の時間を活用して説明文を読ませたりして、文章の内容を読み取る力を育てていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「言葉の学習に関する問題」の正答率は、市の平均より3.9ポイント高い。 ●「漢字を読む・書く問題」の正答率は、市の平均よりやや低い。	・これまでに学習した漢字について、まとめテストや小テストを実施して確実な定着を図る。また、作文指導などで漢字の使用を促す。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	75.0	77.5	74.0
	農業や水産業	80.7	81.1	73.7
	工業生産	63.5	71.1	73.5
	情報産業や情報化社会	70.8	73.7	63.2
	日本の歴史	69.9	69.7	73.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	65.7	67.7	63.1
	観察・資料活用 of 技能	76.3	77.3	75.5
	社会的事象についての知識・理解	70.5	72.2	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

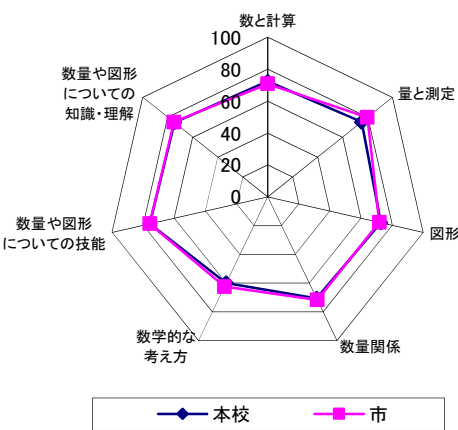
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○「日本の気候の様子について、説明に当てはまる雨温図と都市の位置を判断する」問題の正答率は、市の平均より0.6ポイント高い。 ●「日本の周辺の海洋名を理解する」問題や「日本の周囲の国の国旗を理解する」問題の正答率は、市の平均よりどちらも9.3ポイント低い。	・地図帳や掲示地図を授業で積極的に取り入れ、場所や名称などを何度も確認する場を設定する。 ・近隣諸国のニュースを話題として取り上げ、興味・関心を高める。
農業や水産業	○「米の生産が盛んな地域について、資料を読み取る」問題の正答率は、市の平均より1.9ポイント高い。 ○「農業で働く人々がかかえる問題について、複数の資料から読み取り考えて、表現する」問題の正答率は、市の平均より2.3ポイント高い。 ●「日本の食糧生産がかかえる課題について、資料をもとに考える」問題の正答率は、市の平均より6.4ポイント低い。	・農業や水産業に関する知識や資料を読み取る力が高まっているため、農業や水産業の映像を見せたり生産者の思いを聞かせたりして、児童が共感しやすい指導を今後も続けていく。 ・日々の授業で、資料をもとに考えたり表現したりする時間を確保する。
工業生産	●「工業地域・工業地帯の立地について、資料を読み取り考える」問題の正答率は、市の平均より13.8ポイント低い。	・日本の工業地域や工業の特色について、地図や動画資料、実物資料などを活用して、復習できる時間を設定する。
情報産業や情報化社会	○「医療における情報ネットワークの利便性について、資料を読み取り考える」問題の正答率は、市の平均より3.1ポイント高い。 ●「身の回りのメディアについて理解する」問題の正答率は、市の平均より8.8ポイント低い。	・情報化社会について、総合的な学習の時間を利用して考える場面を取り入れる。また、日頃から社会の情報化と実生活の密接な関わりの例を話題に出すことを心掛ける。
日本の歴史	○「竪穴住居を理解する」問題の正答率は、市の平均より13.7ポイント高い。 ○「殖産興業を理解する」問題の正答率は、市の平均より7.3ポイント高い。 ●「伊能忠敬の業績を理解する」問題の正答率は、市の平均より8.5ポイント低い。	・歴史的な事象に関する意欲は高いので、プリントやワークシートを利用して、知識の定着を図る。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	72.3	70.8	65.9
	量と測定	75.2	79.9	77.0
	図形	72.7	71.8	74.6
	数量関係	70.6	71.7	73.4
観点別	数学的な考え方	59.9	62.5	59.4
	数量や図形についての技能	75.8	75.8	73.3
	数量や図形についての知識・理解	74.7	75.1	76.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

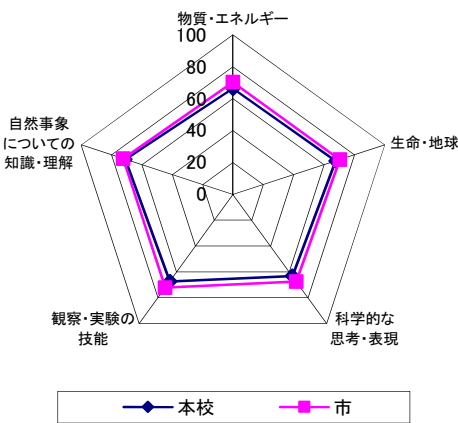
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○「真分数＋真分数で、分母どうしをかける通分をしてから計算をする」問題の正答率は、市の平均より12.7ポイント高い。 ○「問題の場面を理解し、式の表しているものを選ぶ」問題の正答率は、市の平均より6.1ポイント高い。 ●「図を見て、小数倍の文章問題を解くための除法の式を選ぶ」問題の正答率は、市の平均より9.5ポイント低い。	・問題文を読んで、図や数直線に表すようにすることで、正しい式を立てる力を育てていく。
量と測定	●「道のりとかかった時間から時速を求める式を選ぶ」問題の正答率は、市の平均より8.9ポイント低い。 ●「円と正方形を組み合わせた図形の面積を求める式から、その求め方を示した図を選ぶ」問題の正答率は、市の平均より8.9ポイント低い。	・速さや面積などは、公式やきまりを忘れてしまう児童も多いので、繰り返し復習を行うようにする。 ・図形の面積では、複雑な図形についても公式を活用して面積を求めることができることを指導していく。
図形	○「三角形の内角の和が180度であることを理解し、2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求める」問題の正答率は、市の平均より5.2ポイント高い。 ●「合同な三角形を作図する」問題の正答率は、市の平均より9.3ポイント低い。	・コンパス、分度器、三角定規などの用具の使い方について、繰り返し指導していく。 ・合同な図形の条件について、自分の言葉で説明する場面を設け、知識として知っているだけでなく、自分のものとして使いこなせるようにさせる。
数量関係	○「比例の関係をXとYを使って式に表す」問題の正答率は、市の平均より5.5ポイント高い。 ●「どの資料から読み取った事柄であるかを選ぶ」問題の正答率は、市の平均より9.6ポイント低い。	・表やグラフから読み取った数量など、言葉や文章で表現したり、友達と意見を交換し合ったりする活動を増やす。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	66.4	70.3	69.0
	生命・地球	67.6	70.4	70.2
観点別	科学的な思考・表現	63.2	67.5	66.4
	観察・実験の技能	67.4	72.3	68.9
	自然事象についての知識・理解	71.0	72.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○「水に溶けた物の取り出し方について理解する」問題の正答率は、市の平均より17.0ポイント高い。 ●「ろうそくが燃える前後の空気中の気体の変化を考える」問題の正答率は、市の平均より14.7ポイント低い。	・実験後の結果を、実験前の状態と比較し、考察することで、科学的な思考力を養っていく。
生命・地球	○「植物のつくりとはたらきに関する実験の結果について考える」問題の正答率は、市の平均より7.2ポイント高い。 ●「植物の発芽についての対照実験の目的を指摘する」問題の正答率は、市の平均より18.0ポイント低い。 ●「月と太陽の位置関係から、俳句がよまれたときの情景を推測する」問題の正答率は、市の平均より21.0ポイント低い。	・学習課題を解決するために実験を行う、という学習の流れを定着させ、実験の目的が理解できるようにする。

宇都宮市立西が岡小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
国語科を中心とし、自分の言葉で文章にまとめる指導の充実	・作文指導やノート指導の中で、マス目の用紙を使用して、指定された文字数や段落構成で書く経験をさせる。 ・各教科の授業の中で、自分の考えを文章で表す活動を意図的に多く取り入れる。	・「2段落構成で文章を書く」問題の正答率は85.1%で、市の正答率より9.8ポイント高い。 ・「指定された長さで文章を書く」問題の正答率は72.3%で、市の正答率より4.7ポイント低い。
算数科の基礎的事項を確実に理解させる指導の充実	・実際の生活の場面と関連させながら、問題に取り組ませる。 ・朝の学習の時間に、個に応じて補充的な学習を取り入れた指導や繰り返し指導を行い、基礎的な学力の定着を図る。	・「真分数＋真分数で、分母どうしをかける通分をしてから計算をする」問題の正答率は、市の正答率より12.7ポイント高い。 ・「道のりとかかった時間から時速を求める式を選ぶ」問題の正答率は80.9%で、市の正答率より8.9ポイント低い。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・県の調査において、「学習に対して自分から進んで取り組んでいるか」の質問で、肯定的な回答をした児童の割合は、県の平均より低い。体験的な活動を重視した授業を展開することで、多くの児童が意欲をもって学習する姿が見られた。また、朝の学習では、落ち着いて学習に取り組めるように、管理職や7学年教員も学級に入って個別指導を行ってきた。ほとんどの児童は進んで課題に取り組むことができた。改善傾向が見られることから、次年度も継続して取り組み、学習意欲を高めていく。

・4～6年生は、県・市の調査から「指定された長さで文章を書く」問題の正答率が、県・市の平均より低い。また、4、5年生は、県の調査から「2段落構成で文章を書く」問題の正答率が、県の平均より低い。授業の終末部の振り返りで、行数を指定したり、指示された言葉を入れたりして、条件に合うように書く活動を日常的に行ってきた。多くの児童が文章を書くことに慣れ、年度当初より書けるようになってきた。書く内容については個人差が大きく、自分の思いを文章で表現することが苦手な児童も多い。次年度も書く活動の日常化を図り、より豊かな文章表現ができるよう、丁寧に指導を続けていく。

・県・市の調査において、算数の基礎的・基本的事項が理解できていない児童が多い。時間の経過とともに学習内容を忘れてしまっている児童が見られた。次年度は、朝の学習の時間を活用し、課題が見られた問題について、授業後1～2か月程度経過してから再度解かせることで、学習内容の定着を図る。

・市の調査において、「普段、学校の授業以外に一日どれくらい学習するか」の質問で、「ほとんどしない」「10分くらい」と回答している児童の割合は、平日、休日ともに市より高い学年が多い。自主的に家庭学習に取り組む児童を育成することが課題である。本年度から全学年で「リレー自主学习ノート」を作り実践したことで、友達の取組を参考にして学習するよい機会となった。自主学习の内容にも工夫が見られる児童が多くなった。次年度も本年度の取組を継続し、保護者と連携して家庭学習の充実を図る。